

今日のトピック 最近の指標から見る中国経済（2017年10月）

7-9月期は堅調維持、17年の政府目標達成が確実に

ポイント1 GDP成長率は+6.8%

通年で政府目標達成が確実に

- 中国国家統計局は19日、主要経済指標を発表しました。2017年7-9月期の実質国内総生産（GDP）成長率は、前年同期に比べ+6.8%と、4-6月期（同+6.9%）から小幅に減速しました。
- 1-9月期の実質GDP成長率は同+6.9%となったため、17年の政府目標「+6.5%前後」を通年で達成するのは確実に見られます。

ポイント2 生産、消費はしっかり

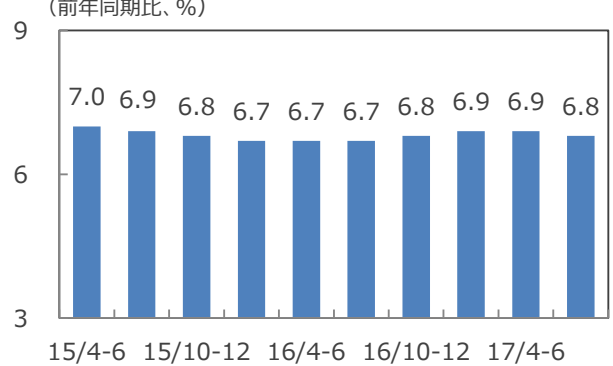
固定資産投資は減速

- 9月の鉱工業生産は前年同月比+6.6%と、8月（同+6.0%）から伸び率が拡大しました。7、8月の天候不順の反動もあると見られます。
- 9月の小売売上高も同+10.3%と8月（同+10.1%）から加速しました。インターネット販売が引き続き堅調です。
- 一方、1~9月の固定資産投資は前年同期比+7.5%と、1~8月（同+7.8%）から伸び率が鈍化しました。約6割を占める民間投資が減速しました。

今後の展開 景気は底堅く推移しよう

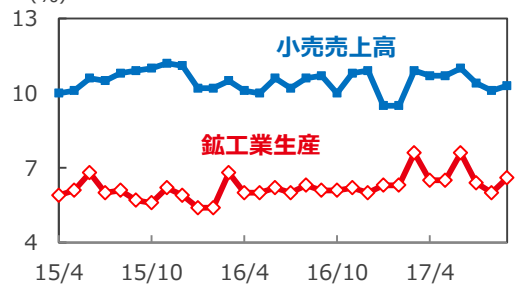
- 以上をまとめると、実質GDPが小幅な減速にとどまり、9月の鉱工業生産や小売売上高が市場予想を上回るなど、7-9月期の景気は総じて堅調でした。
- 共産党大会後の政府の政策運営に依存しますが、今後も景気は緩やかに減速しつつも、比較的底堅く推移する見通しです。

【実質GDP成長率】



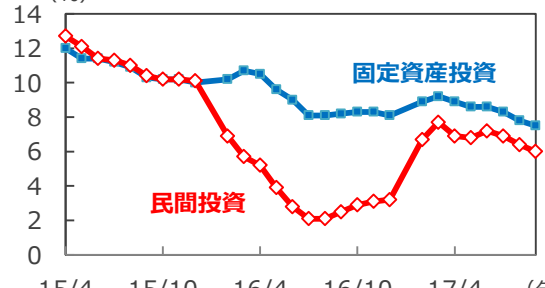
(注) データは2015年4-6月期~2017年7-9月期。(年/月期)
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

【小売売上高と鉱工業生産】



(注) データは2015年4月~2017年9月、前年同月比。(年/月)
1、2月は2月の年初来累計の前年同期比。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

【固定資産投資と民間投資】



(注) データは2015年4月~2017年9月、年初来累計の前年同期比。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ここもチェック! 2017年10月16日 『中国共産党大会』が18日に開幕
2017年10月 5日 好調を維持した中国・アセアンの『PMI』

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。